

## 年間特集

## 都会でのパンスターズ彗星の観測

秋山晋一（室生観測所）

## 1. 都会で果たして彗星は見えるのか

大彗星の前評判が高いパンスターズ彗星。しかし私の住む人口80万人の大阪府堺市は、彗星が見える西空には臨海工業地帯、そして大都市の大阪市に隣接しており彗星観測には最悪の環境です。果たして都市でも大彗星は見えるのか。彗星ファンとしては見たい一心で都合8日間、眼視観測と写真撮影を敢行しました。都会で彗星を見るための条件や工夫とともに、観測状況を紹介します。

## 2. 都会で彗星を見るための条件

大彗星といえども、都会で超低空の彗星を見るためには、次のような条件や工夫が必要になります。

- 1 彗星のコマが集光して十分明るいこと。  
パンスターズ彗星を捉えた期間は、コマの光度がおおよそ1~3等級でした。
- 2 低空まで雲がないこと。GPV天気予報で雲の接近を予測して準備しました。
- 3 大気汚染が少ない雨上がりや風の強い日が観測のねらい目です。晴天が2、3日も続くと都市の大気汚染はひどく、大陸からの黄砂や大気汚染物質と相まって彗星どころか恒星さえ見えません。今回は幸運にも大阪は雨上がりに恵まれました。
- 4 望遠鏡は、明るい光学系を用いること。  
パンスターズ彗星は低空のため光害の影響を受け、中には5cm双眼鏡でも見えないとの報告もありました。彗星のような低輝度の面積体を見るには、望遠鏡は口径を大きく、集光力を生かすため大きな射出瞳径を得る低倍率が効果的です。私は、口径8cm倍率12倍屈折望遠鏡と口径12cm倍率20倍双眼鏡を用いました。

## 3. 観測状況（抜粋）

- ・3月11日 彗星を初めて確認。8cm屈折で集光したコマと東へ傾いた尾が見えた。光度は1等以上。
- ・3月12日 薄明が暗くなるとともに望遠鏡の視界に彗星が輝いて現れた。写真撮影はカブリがひどく難しい。
- ・3月15日 8cm屈折で彗星の形状をスケッチに取って観察。（図1）

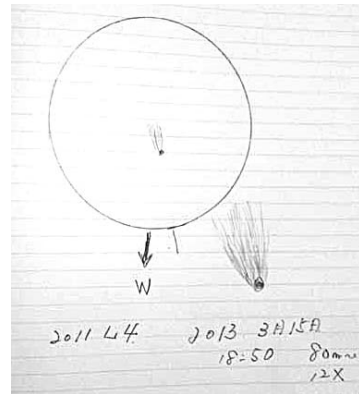


図1 パンスターズ彗星のスケッチ

彗星のスケッチはコマなどの細部の表現や、写真撮影のできない時に有効です。

## 4. おわりに

パンスターズ彗星は、都会に住む私たちにまで大彗星の雄姿を見せてくれました。現代人にとって大彗星の定義とは、都会でも見える彗星かもしれません。

秋山 晋一